

単
元
名

人体の骨格について調べる

教科書出版社名 (新興出版社啓林館)

○ 中学校 (2) 年 教科等 (理科)

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等で付けたい力)

・動物は、光や音などの外界からの刺激を受け取る感覚器官が発達しているということ、ヒトの体を中心に理解する力。

(学校図書館等の活用で付けたい力)

・たくさんの資料の中から、最適な資料を選び、そこから情報を収集し、まとめる力。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- 情報収集…目的に応じて資料やタブレット端末で調べ、必要な情報を集める。
- 整理・分析…複数の資料の中から、最適な資料を自分で選び、その情報をまとめる。
- まとめ・表現・発信…個人でまとめたものを班で1つの資料として整理し、発表する。

○ 学習の展開 (全7時間) (学校図書館等を活用した時間は☆印にて記入してください)
(単元の流れを簡潔に記入してください)

第1時	・外部から受ける刺激を感じ取るしくみについて理解する。
第2時	・感覚器官のつくりやはたらきについて整理する。
第3時	・伝達した刺激から、反応するまでの時間について実験する。
第4時	・意識して起こす反応と無意識で起こる反応について比較し整理する。
第5時☆	・人体の骨格をはかって描く。 ・人体の骨格について図書館で調べて、まとめる。
第6時	・調べたものを発表する。 ・各班で発表したものを比べる。
第7時	・ヒトの運動のしくみについて理解する。

(本時 5 / 7 時)

☆学校図書館等活用 (本時) の学習

本時のねらい

- ・自分たちの骨格が実際はどのようなになっているのかを図書館で調べてまとめる。

